

平成29年度決算に係る

決算審査調書

平成30年7月

教育委員会事務局小中学校課

## 目 次

7	決算調書(総括表) .....	1	頁
8	事業別実施状況調べ .....	2	頁
9	予備費の充用調べ .....	7	頁
10	繰越関係調べ .....	7	頁
	(1) 継続費逋欠繰越調べ.....	7	頁
	(2) 繰越明許費調べ.....	7	頁
	(3) 事故繰越調べ.....	7	頁

## 7 決算調書

## 一般会計(歳入)

(単位:円)

区分	科目	予算現額				調定額 A	収入済額 B	不納欠損額 C	収入未済額 A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費 繰越財源充当額	計					
歳入	教育手数料	4,520,000			4,520,000	5,795,540	5,795,540	0		
	教育費国庫補助金	39,272,000	△ 10,550,000		28,722,000	25,271,464	25,271,464	0		
	教育費委託金	14,110,000	△ 10,027,000		4,083,000	3,131,467	3,131,467	0		
	雑入	271,000			271,000	204,412	204,412	0		
	合計	58,173,000	△ 20,577,000	0	37,596,000	34,402,883	34,402,883	0	0	

## 一般会計(歳出)

(単位:円)

区分	科目	予算現額				決算額 B	決算額の内訳		翌年度繰越額 C	差引増減額 A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費 繰越額	予備費支出及び 繰越費用増減		計 A	本庁			
歳出	教職員人事費	4,528,000			2,125	4,530,125	3,994,183	3,993,598	585	535,942	
	教育連絡調整費	187,315,000	△ 42,563,000		△ 2,125	144,749,875	121,103,731	110,996,473	10,107,258	23,646,144	
	教育振興費	1,424,000				1,424,000	1,286,046	1,286,046	0	137,954	
	合計	193,267,000	△ 42,563,000	0	0	150,704,000	126,383,960	116,276,117	10,107,843	0	24,320,040

## 8 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	当初予算額	補正予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果・不用額
(教職員人事費) 教育職員免許事務費	4,528,000	2,125	3,994,183	0	535,942	教育職員免許状の授与・検定・書換・再交付及び授与証明書交付に係る事務並びに平成21年度から導入された教育職員免許状更新制度に関する事務を行った。
目計	4,528,000	2,125	3,994,183	0	535,942	
(教育連絡調整費) 教育指導連絡調整費	6,305,000	△ 2,125	4,023,614	0	2,279,261	教科用図書に関する事務、指導主事による学校訪問・指導助言などを行った。
ふるさと鳥取見学(県学)支援事業	1,260,000	△ 671,000	588,100	0	900	小学校が「県民の日」の関連行事として実施する県内の社会科見学で、交通手段の制約もあり、経費的に負担が大きい、学校から一定の距離以上離れた見学先を訪問する場合に使用するバスの借上経費の一部を補助した。
東日本大震災等により被災した幼児児童生徒に対する就学支援事業補助金	634,000	0	403,464	0	230,536	東日本大震災等により被災し、県内の幼稚園及び小・中学校に幼児・児童生徒を通わせている保護者の経済的負担を軽減することを目的として必要な援助を実施した市町村に対し補助を行った。
学力向上実践研究推進事業	1,000,000	△ 1,000,000	0	0	0	事業実施希望がなかったことによる。
(主)教科でつながる小中連携授業力向上支援事業	5,374,000	△ 960,000	2,127,784	0	2,286,216	「6主な事業に関する調べ」に記載
環日本海教育交流推進事業	4,706,000	△ 60,000	3,908,007	0	737,993	【教職員交流】 平成29年10月24日(火)～10月27日(金)、校長を団長とする10名の訪問団が韓国江原道を訪問。韓国江原道教育庁に表敬訪問するとともに、中・高等学校を訪問し、意見交換、施設見学、交流授業等を実施し、相互理解と友好を深めた。  【児童生徒交流】 平成29年9月12日(火)～9月15日(金)、校長を団長とする25名の訪問団(中学生6名、高校生14名、引率教員等5名)が鳥取県を訪問。中・高等学校に分かれて訪問して、授業体験や交流会、意見交換会を行った。訪問先ではホームステイも体験し、相互理解と友好を深めた。
(主)エキスパート教員認定事業	9,801,000	0	9,390,835	0	410,165	「6主な事業に関する調べ」に記載
教育課程実践充実事業	2,241,000	0	1,485,827	0	755,173	教育課程研究集会を実施し、新学習指導要領の趣旨や各教科等の重点、移行措置を含めた教育課程の編成及び実施上の諸課題への対応について説明を行い、教職員への理解を図った。 ・平成29年8月8日(火)小・中学校道徳部会 ・平成29年8月10日(木)小・中学校部会 新学習指導要領の趣旨や移行措置の内容等について、冊子「平成30年度鳥取県学校教育のめざすもの」を作成し、3月に配布した。

事業名	当初予算額	補正予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果・不用額
教職員研修費	21,617,000	△ 2,032,000	18,280,934	0	1,304,066	<p>教員を大学・大学院や独立行政法人教職員支援機構等へ計画的に派遣することにより、専門分野等の高度な知識・技能を有した、県や各地域の中核となれる人材を継続的に育成し、本県教育の一層の充実を図った。</p> <p>【平成29年度の派遣実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央研修講座等への派遣 独立行政法人教職員支援機構中央研修19名</li> <li>・独立行政法人教職員支援機構指導者養成研修 25名</li> <li>・島根大学教育学部現職教員研修 6名</li> <li>・大学・大学院へ派遣 17名</li> <li>・長期社会体験研修（民間企業、社会福祉施設、社会教育施設等） 5名</li> <li>・特別支援教育派遣 6名</li> <li>・県教育センター長期研修 6名</li> <li>・英語教員海外派遣 1名</li> </ul>
道徳教育推進事業	4,905,000	△ 1,777,000	2,838,584	0	289,416	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育全体を通して行う道徳教育実践の研究指定を行った。</li> <li>・実践校の実践発表の場を設定し、県内各学校へ研究成果を還元した。（平成30年2月2日（金）道徳教育パワーアップ研究協議会 約70名参加）</li> </ul> <p>&lt;事業実施校&gt; 面影小、福米西小、湖東中、鹿野中、青谷中</p>
科学の甲子園ジュニア鳥取県大会開催費	737,000	0	604,614	0	132,386	<p>北条農村環境改善センターを会場に開催し、県内中学校1、2年生84名（15校・28チーム）が参加した。総合1位及び2位のチームは鳥取県代表として全国大会に出場した。県内の中学生が科学への興味・関心を高め、科学を学ぶことの意義を実感できる場を提供することができた。</p>
土曜授業等実施支援事業	14,698,000	△ 6,711,000	6,644,747	0	1,342,253	<p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・14市町村から申請を受け、実施計画に基づき実施した。</li> <li>・市町村教育委員会担当者との連絡協議会を開催し、連携体制の構築を図った。</li> <li>・県教育委員会ホームページの活用による土曜授業等の取組に係る情報発信を行った。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての子どもたちの土曜日における教育活動の充実を図るため、学校・家庭・地域が連携・協力して行う学校における授業、地域における多様な学習や体験活動の機会の充実などの取組の推進と充実に努めた。</li> <li>・土曜授業等を実施しようとする市町村を、国事業及び単県事業で支援するとともに、連絡協議会を開催し、学校、家庭、地域の三者が連携し、役割分担しながら子どもたちに豊かな教育環境を提供する体制づくりの充実を図った。</li> <li>・各市町村の取組を、本課のホームページで紹介し、土曜日等の教育環境づくりに社会全体で取り組むことの重要性や取組の成果等について県内に広く発信した。</li> </ul>

事業名	当初予算額	補正予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果・不用額
小学校理科教育パワーアップ事業	3,280,000	0	3,027,628	0	252,372	<p>県内5校を拠点校とし、公開授業や研修の実施等とおして、全県的に小学校教員の理科の授業力向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点校は、鳥取市（久松小、稲葉山小）、倉吉市（社小）、大山町（大山小）、日野町（黒坂小）の5校</li> <li>・拠点校における授業公開、研修会を実施した。</li> <li>・拠点校加配教員によるチーム・ティーチング、拠点地域の他校での授業づくりの助言、共同授業を実施した。</li> <li>・小学校教育研究会理科部会による大学教授を招へいた講演会の開催や先進校視察を実施した。</li> <li>・拠点校、事業実施市町教育委員会を対象とした連絡協議会を実施した。</li> <li>・拠点校の取組、成果を県教育委員会のホームページで情報発信した。</li> </ul>
特色ある小中9年教育支援事業	970,000	0	736,253	0	233,747	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民との協働・連携による小中一貫教育を推進し地域の次代を担う地域人材の育成のため、各小・中学校単位の地域協議会が一体となった中学校区全体のネットワーク会議を設置して、目指す子ども像の共有と協働による学校運営を推進した。</li> <li>・モデル地域は、鳥取市（鹿野中学校区）、伯耆町、日南町の3地域</li> <li>・地域の特色を生かした小中9年間を見通した系統性のあるカリキュラムを作成し、鳥取県教育委員会ホームページで情報発信した。</li> <li>・モデル地域の取組に関して、鳥取県教育研究大会におけるパネル展示により情報発信した。（平成29年11月）</li> </ul>
情報モラル教育推進事業	1,880,000	△ 700,000	684,446	0	495,554	<p>モデル中学校区として米子市立淀江中学校区を指定し、情報教育サポーター、鳥取県ICT活用教育協働コンソーシアム（産業界、大学、県警、県教委等）と連携して取組を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中9年間を見通したモデルカリキュラムを作成した。</li> <li>・「情報モラル教育校内研修用DVD（鳥取県ICT活用教育推進協働コンソーシアム作成）」を活用した実践を行った。</li> <li>・授業公開による先進的取組の公開及びホームページでの情報発信を行った。</li> <li>・家庭・地域と連携した取組を推進した。</li> <li>・中学校区連絡協議会を設置し、小中連携による実践を行った。</li> <li>・県PTA研修会等で成果を全県に還元した。</li> </ul>
プログラミング教育実施支援事業	1,056,000	0	744,962	0	311,038	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校段階におけるプログラミング教育に係る研修会を開催した。（6月）</li> <li>・プログラミング教育の目的や意義、カリキュラムへの位置付け等について正しい理解を図るための研修会を開催した。</li> <li>・教員対象のプログラミング体験会を開催した。（7月、11月）</li> <li>・鳥取県ICT活用教育推進協働コンソーシアムとの連携を図りながら、プログラミングが体験できる場を設定した。</li> </ul>

事業名	当初予算額	補正予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果・不用額
学力向上を支える基盤づくり支援事業	4,019,000	△ 800,000	2,364,849	0	854,151	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とりっこドリル基礎編の活用を促すリーフレットを作成し、10月に県内小中学校の教職員全員に配布した。</li> <li>・学力向上を支える基盤づくりに重要な4つのポイントについて整理した冊子「学力向上を支える基盤づくりに向けて」を作成し、3月に県内小中学校教職員全員に配布した。</li> <li>・1月に学力向上推進に係る研修会を開催し、学力向上を支える基盤づくりの重要性について周知を図った。</li> </ul>
(主) 幼保小連携推進モデル事業	3,044,000	0	2,439,628	0	604,372	「6主な事業に関する調べ」に記載
幼児教育充実活性化事業	1,937,000	0	1,144,539	0	792,461	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園、保育所、認定こども園等の教職員の指導力向上と小学校教育との連携推進を図るための取組を推進した。</li> <li>○各種研修会の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼保小連携推進研修会参加者：141名)</li> <li>・幼稚園教員、保育士、保育教諭等の合同研修会(3地域×5回) (参加者：1,252名)</li> <li>・幼稚園教育課程等研究協議会(参加者：111名)</li> <li>・市町村等幼児教育・保育指導者研修会(2回) (参加者：84名)</li> <li>・幼児教育センター設置に伴い、活用を呼びかけるチラシ・リーフレットを作成・配布</li> <li>・月例(7月～1月) 幼児教育センターと市町村担当者合同研修会(参加者：122名)</li> <li>・園への訪問指導(計画・要請等)(718回)</li> </ul> </li> </ul>
幼児教育の推進体制構築事業	9,064,000	△ 6,000,000	1,903,069	0	1,160,931	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県幼児教育アドバイザー(1名)を中部教育局に配置することによって、各地域で充実した指導を行うことができた。(訪問実施園数：103園 *うち他地域への訪問8園)</li> </ul>
(主) コミュニティ・スクール導入促進事業	13,042,000	△ 4,438,000	7,547,955	0	1,056,045	「6主な事業に関する調べ」に記載
学校支援ボランティア事業	34,330,000	△ 12,415,000	18,069,397	0	3,845,603	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助率2/3(国1/3、県1/3、市町村1/3)の国事業「地域学校協働活動事業」と、定額補助(学校規模による)県事業「地域で育む学校支援ボランティア事業」を実施した。</li> <li>【ボランティア活動状況】</li> <li>○平成29年度実施状況 13市町村、1学校組合(小学校116校、中学校39校、特別支援学校1校)</li> <li>○平成29年度ボランティア登録人数 7,453名</li> <li>【研修会の実施】</li> <li>・社会に開かれた教育課程と地域学校協働活動について理解し、学校関係者と地域住民がともに学校を核とした地域づくりについて考える研修会を年2回実施。うち1回はコミュニティ・スクール推進研修会と兼ねて実施した。</li> </ul>

事業名	当初予算額	補正予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果・不用額
とっとりふれあい 家庭教育応援事業	11,033,000	△ 565,000	9,187,894	0	1,280,106	<p>家庭の教育力の向上を図るため、身近な地域において家庭教育を支援する「家庭教育支援チーム」の設置、情報や学習機会の提供、相談体制の充実をはじめとするきめ細かな家庭教育支援を行うことにより、地域全体で家庭教育を支えていく基盤形成を促進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村への補助金（国1/3、県1/3、市町村1/3）</li> </ul> <p>実施市町村 11市町村、補助金額 6,586千円</p> <p>【家庭教育支援員等育成講座】 市町村に配置されている家庭教育支援員を中心に、地域で活動する家庭教育支援者が、家庭を取り巻く現状と課題について理解を図るとともに、各地域における訪問型家庭教育支援体制の構築のための組織づくりや取組に活かすために必要なスキルを学んだ。</p> <p>【ファシリテータフォローアップ研修（全県1回）】 これまでに養成したファシリテータに対し、スキルアップのための研修会を実施する。</p>
放課後子供教室推進事業	25,162,000	△ 2,584,000	19,862,748	0	2,715,252	<p>子どもの安全・安心な居場所を確保するとともに学習や様々な体験・交流活動の機会を提供するため、放課後や週末、長期休業中に小学校の余裕教室や公民館等を活用し、地域の方々の参画を得て、学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市町村への補助金（国1/3、県1/3、市町村1/3）</li> </ul> <p>実施市町村 10市町村、補助金額 17,287千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○県立特別支援学校での実施</li> </ul> <p>実施学校数 5校、事業額 2,469千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○県主催の研修会（放課後児童クラブ（子育て応援課所管）と合同で実施）</li> <li>・安全管理研修会（東部・中部・西部で各1回）では、子どもの安全管理及び危機対応等について学んだ。</li> <li>・指導者等研修会（1回）では、特別な支援が必要な子どもへの対応等について学んだ。</li> </ul>
(主)「地域未来塾」推進事業	3,344,000	△ 1,850,000	1,217,853	0	276,147	「6主な事業に関する調べ」に記載
社会教育関係団体による地域づくり支援事業	1,876,000	0	1,876,000	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年の健全育成、家庭・地域の教育力の向上及び本県の生涯学習の推進を図ることを目的に、以下の社会教育関係団体が行う人材育成、指導者養成及び調査研究活動を助成した。</li> <li>・人材育成や調査研究は、短期間が多い会長職の貴重なスキルアップの要素であり、県教育委員会と方向性を同じくして、取り組むことができた。</li> <li>・団体への補助金（補助率1/2、一部10/10）</li> </ul> <p>鳥取県PTA協議会 補助金額 860千円 鳥取県高等学校PTA連合会 補助金額 1,016千円</p>
目 計	187,315,000	△ 42,565,125	121,103,731	0	23,646,144	

事業名	当初予算額	補正予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果・不用額
(教育振興費) 教育振興費	1,424,000	0	1,286,046	0	137,954	教育の振興を図るため、鳥取県中学校総合文化祭開催への助成を行った。 また、優良PTA文部科学大臣表彰などの各種表彰に対する選考や表彰を行った。
目計	1,424,000	0	1,286,046	0	137,954	
合計	193,267,000	△ 42,563,000	126,383,960	0	24,320,040	

9 予備費の充用調べ 該当なし

10 繰越関係調べ

(1) 継続費通次繰越調べ 該当なし

(2) 繰越明許費調べ 該当なし

(3) 事故繰越調べ 該当なし